

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(相生小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

「キャリア教育を軸にした学校づくり」をさらに進め、地域人材の活用やキャリア教育の大切さを保護者にも広く浸透させていく方針を熟議する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校運営の基本方針である4つの力、特に今年度は『温かく関わる力』に重点を置いて、熟議をする事ができた。
- ・学校運営の当事者として、委員みなで積極的に意見を出し合い、理解することができ、熟議に結び付ける事ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・協議会2年目となり、それまで支援体制を熟議してきた結果、6月1日相生小「風の子・太陽の子応援団」発足式を開催し、実質的にスタートすることができた。
- ・「できることを、できるときに、できるところから」を合言葉として、従来の図書ボランティアやクラブ活動ボランティアに加え、図工、家庭科、園芸にまで活動の幅を広げることができた。
- ・行事や各学年の活動内容より、児童が友達と認め合ったり、自分の目標に向かって頑張っていることを認識した。また、キャリア教育やCS活動により児童の学習内容が充実したことを認識した。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・中日新聞で地域住民や保護者を講師に招いたクラブ活動が紹介されて広報になったと思う。
- ・CSだよりを学校HPに掲載したり、コミュニティ・スクールだよりを発行し、さくら連絡網で保護者・ボランティアの方たちへ発信したりすることで、学校での様子を知ることができた。ボランティア活動への参加者も増えているので、認知度は上がっていると感じている。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・学校運営に関するさらなる理解を深めたい。風の子・太陽の子応援団協力者から今年度の活動の感想や改善点を吸い上げ、次年度の活動へつなげていきたい。
- ・学校運営について熟議できるように、活動の方針を学校・保護者・地域で共有できるように努めていく。